

第80号

芸術文化学部  
芸術文化学科  
4年

富山県立入善高等学校  
(富山県)



## 友人と切磋琢磨してデッサン対策

幼い時から絵を描くことが好きで、誕生日のプレゼントに画材をもらっていました。中学で陸上部と美術部で悩みましたが、陸上部に入り短距離走に挑んでいました。高校では美術部で、油絵に挑戦しました。油絵を通して、描くことが好きだと改めて認識しました。大学でやりたいことは美術に関することだと思いました。美術部の顧問の先生が富山大学の教育学部の出身で、大学時代のお話を聞いて富山大学に憧れました。芸術文化学部のオープンキャンパスに参加し、色々な専門を学んだ上で自分に合う領域を選べるオープンコース方式に魅力を感じ、富山大学芸術文化学部に進学したいと考えました。同じ美術部の友人で同じように美術専攻の大学を志願している友人がいたので、週末は一緒に朝日町から高岡の画塾に通ってデッサンの対策をしました。

## 作品の背景や想いを知る楽しみ

富山大学に入学し、1年次は五福キャンパスで教養教育の授業を受けました。違う学部の人とグループワークを行う授業を通して、考え方の違いを感じ面白いと思い、ワクワクしていたことを覚えています。2年次からは高岡キャンパスでデザインや建築など、興味のある分野の授業を幅広く履修しました。元々高校まで、歴史の授業は苦手でした。大学で日本美術史の講義を受ける中で、作品の作られた背景や想いを知ることに楽しさを覚えました。特に三宮千佳准教授の授業が楽しく、研究室配属で三宮先生の研究室に入りました。研究室の修士課程の先輩方が奈良の研究旅行に行く聞き、私たち学部生も参加させてもらいました。先生と対話できる機会が多く、勉強になりました。昔の書物(日記)のなかに仏像についての記録をたどる旅でした。先生のエピソードトークと仏像の実物を見て、ますます興味を持ちました。

## 行政で芸術文化のサポート役に

元々は絵を描くことが好きでもっと技術を向上させたいという気持ちから芸術文化学部に入りました。学ぶ中で、作品の背景に思いを巡らせる経験を通して、地域の文化資源に関わりたいと考えるようになりました。大学2年次から富山大学の公務員講座を受講し勉強を始めました。春からは富山県庁で、総合行政職として勤務します。4年次からの卒業研究では、美術史と富山の地域史に着目し、「富山県の売薬版画の美術史的視点による研究」をテーマに設定しました。富山で生まれ育っていても売薬版画については知りませんでした。研究を進める中で、売薬版画の歴史背景や新たな気づきがあり、作品の魅力を再発見しました。



## 母校の後輩たちへ

些細なことでも、自分の興味のあることに関わる機会が身近にある環境は、大学生活の大きな醍醐味だと感じています。実際にやってみなければわからないことも多いからこそ、「とりあえずやってみよう」という気持ちを大切にしてほしいと思います。挑戦を重ねる中で、自分の可能性や新たな目標が見えてくるはずです。